

譲渡価格100万円に大幅下げ

【蘭越】町は町のホームページ（HP）で、町営チセヌプリスキー場の譲渡先を再々公募している。譲渡金額は従来の5千万円から1千万円へ大幅に引き下げた。公募期間は22日までで、町は「三度目の正直」に期待する。

同スキー場は施設の老朽化などのため、2013年末から営業を休止。町は2014年12月～15年

チセヌプリスキー場

4月と15年12月～16年1月の2回、HP上で譲渡先を公募した。最初の公募では東京の企業が内定したが最終契約に至らず、2回目

蘭越町が再々公募

では1社の応募があったが、その後取り下げた。3回目の公募は3月9日に始めた。

同スキー場の再開にはリフト改

修費がかかる上、敷地内に宿泊施設を建設できる土地はなく、大規模な再開発には適さない。だが、奥ニセコにある穴場的なスキー場としてファンは多く、再開を願う声は根強い。

1千万円という譲渡金額について、町は「スキー場を営業する」という意思確認的なもの」と説明。リフト改修費などのコストを見越した上で、長期的に経営する意思を持つ企業などからの応募を待っている。

（小池伸之）